

第8回「安心・活力・発展プラン2005」推進委員会 委員発言要旨

日時：平成26年8月8日（金）13:30～15:30

場所：トキハ会館5階「ローズ」

No.	項目	発言要旨
1	子育て支援	子育て中の親はさまざまな不安を抱えている。子育て満足度を高めるためには、子どもを産んで良かったと思える社会にすることが重要。
2		子育てにも「不易」「流行」があるが、地域との連携や祖父母による育児等、「不易」の部分をもう一度考え直していくことで子育て満足度は上がっていく。
3		「おめでたファンド」を造成し、子育て支援を充実させてはどうか。
4		人口減少社会に対応するためには、20～30代の女性支援が重要。この世代の女性に子どもを産んでもらう施策をしっかりとしないと、10年後、20年後の未来はない。
5		企業や行政だけでなく、県民一丸となって子育て支援をしていくという意識改革が必要ではないか。
6		経済面の支援だけでなく、子育てが楽しい、子育て中の家庭は幸せといったメッセージをもっと伝える必要がある。
7	障がい者支援	大分県の知事部局における障がい者雇用率は全国中位、教育委員会でも10位前後。障がい者雇用率日本一に向け、行政での雇用率も1位を目指してもらいたい。
8	高齢者対策	65歳以上の元気な方々の活用が必要。雇用の場や活躍の場を与えるような施策を展開してほしい。
9	地球環境	地球環境問題に熱心に取り組んでもらっているが、気象条件や社会条件の悪化により達成状況が悪くなっている。評価指標の変更を検討する必要があるかもしれない。
10	食育	男性向け料理教室を積極的に開催し、配食等の生活支援サービスの担い手になっていただくとともに、男性の介護予防を図る等、食を通じた地域づくりをさらに進めてほしい。
11	女性の活躍	行政の委員会等で女性の登用が進んでいるが、それでも審査会や意思決定に関わる部門での女性登用は低いと感じている。企業や行政での女性の活躍の場をもっと広げてほしい。

12	地産地消	地元産品の良さを県民の皆さんが知らないことが多い。地産地消により、地元産品の良さを県民が改めて認識することが全国展開につながる。
13		地元企業と留学生との交流会会場に他県のビール、焼酎が並んでいた。こういう場を逃さず、横断的に地元産品をアピールしてほしい。
14	有害鳥獣対策	耕作放棄地は有害鳥獣の住処になる。耕作放棄地対策をしっかりと行ってほしい。
15	企業誘致	大企業の移転に伴う空き施設を企業誘致や雇用促進に活用してほしい。
16	教育	芯の通った学校づくりを推進し、これまで以上に学力向上を図ってほしい。
17	いじめ・不登校対策	一人ひとりの特性に応じた不登校対策を行うことが重要。
18		不登校対策の一環として、乳幼児期の教育を充実させる必要がある。
19	交通	県と四国を結ぶフェリーを「動くサービスエリア」と見立て、おみやげの購入や食事、シャワー等、色々なことができる施設にすると利用者が増えるのではないか。
20		大分空港から最終便で帰ると、工事で空港道路を使えないことが多い。少し時間をずらす等の対応はできないか。
21	IT	県立美術館や県立図書館等、公共施設における無線LANの整備を進めてほしい。